



選考評

「家族3世代で暮らす家を。」という施主の思いに応えるべく、地元の木を使い手刻み加工、小舞からの土壁下地に漆喰と、我が国の伝統工法を大切に守りこだわり建てられた住まい。細部にわたって丁寧に施工された漆喰は、乾燥し強度を増していく木材と共に長い年月をかけて成熟し、家族の大切な思い出と共に風合いが刻まれていく。設計者の「住むほどに愛着を」という言葉通り、家族と共に成長する住まいがここにある。



所在地 愛知県岡崎市上地 2-19-15
竣工 2012年8月
設計者 一級建築士事務所木輪組 小田貴之
施工者 オダ工務店 小田紀充
左 官 有限会社小林業務店 小林 公

受賞者のコメント／設計者

地元で育った木を使い、柱を表しとする真壁に昔ながらの工程で小舞を掻き荒壁・中塗り・漆喰仕上げと時間と手間をかけて造る「木組みの家」は職人の技術の結晶とも言えます。このような伝統的技法の家に携わることができ、またこの度の受賞に繋がったこと大変感謝しております。なによりお施主様のご理解とご協力のおかげです。誠にありがとうございました。(小田貴之)